

双葉西小だより

令和6年 7月19日 文責 校長



1学期の御支援・御協力 ありがとうございました

やる気いっばいに過ごした4月、様々な校外学習を行った5月、記録的暑さの6月、長い梅雨となった7月、来週月曜日には71日間（1・6年生は72日間）の1学期終業式を迎えます。令和6年度がスタートした4月からの4ヶ月間、保護者・地域の皆様には様々な厚い御支援をいただき、双葉西小児童が充実した日々を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ夏休みに入ります。長期の休みですので、学校ではできないことに挑戦してほしいと思います。自然体験や地域行事、家族での団らん、絵画や工作等の創作活動、調査研究、読書、お手伝い、体力作り等々。児童にとりまして有意義な夏休みになりますよう御支援・御協力をお願いします。

1学期の思い出



見える学力 見えない学力

通信票である「あゆみ」が家庭に返される時期、一冊の本を思い出し、手に取りました。それは「見える学力 見えない学力」(岸本 裕史著)です。

私の経験上、教室で通信票が返された時の児童の反応は、たいがい教科の成績だけを見てニコニコと微笑むか、沈黙し密かに溜息をつくかでした(今はそんなことないと願います)。
努力は結果だけでなく過程にある、だからその過程の取組を褒め、共有し、励ましていくと、更に多方面に力を伸ばしていくのです。そこを御理解いただき御家庭でも対応していただけるとありがたいと思います。

さて、あと1つ付け加えます。先程の書籍より概略を伝えと、学力には「見える学力」と「見えない学力」があるということです。「見える学力」(読み・書き・計算・考える力・話す力など)は、氷山の一角(学力の 1/8 程度)で、「見えない学力」とは、「見える学力」を支える力(根気・挑戦する気持ち・協力できる力・自分を振り返る力・情報を集める力・学んだことや経験を生かすなど)です。ですから、教科等ばかりを注視するのではなく、生活の力、「見えない学力」を太らせることがとても大切になります。

甲斐市長を囲む座談

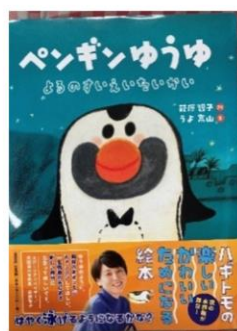


6月末に「甲斐市長を囲む座談会」が開催されました。本校は山梨県初の「学校運営協議会設置校」なのですが、この12年間に蓄積してきた先駆的な取組を市長に理解していただく会です。学校からは学校運営協議会会長、協議会委員、校長や教職員代表が参加しました。具体的活動や児童状況を説明したところ、「大人と関わり、本物の学びや体験をしているからこそ、豊かな児童が育っている。これからも学校応援団や地域の力を借りて学校運営を推進してほしい。」との賛辞をいただきました。私自身、改めて双西小地域の素晴らしさを実感したところです。

寄贈



学校応援団の方に寄付をしていただきました。社会科「伝統工芸」の学習に最適なため、4年生で活用させていただきます。



シドニーオリンピックで水泳に出場した、萩原智子様より寄付をしていただきました。図書室に収めさせていただきます。

連絡

- 1 R6運動会は10月5日(土) 半日開催です
- 2 西小まつりのビデオはタブレットで御覧になれます(別紙、詳細の通知を配付します)
- 3 児童の様子は双葉西小学校ホームページのブログから

URL <https://www.city-kai.ed.jp/fnsho/>

